

# シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
82

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO: アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始め。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。  
JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

## MoiMoi Life in Siem Reap

### Will a new avenue become available in half year?

Bayon Junior High School was featured in our previous issue but the completion ceremony was rescheduled again only to be fixed just four days before the ceremony. The guest of honor also changed from the Prime Minister to Deputy Prime Minister and finally Provincial Governor. Once it was decided, it everything was ready in three days.

The Governor appeared on time to a welcoming crowd of 480 students and teachers, together with about 600 villagers. The ceremony proceeded without a hitch.

There will be the first graduating class in half year and many students are hoping for a Bayon High School. Considering not even 15% of elementary school graduates went onto junior high school only three years ago, that seems like a dream. Or could it just be possible?

### 半年後、道は開けるか？

なかなか日程が決まらず、やきもきしていたバイヨン中学校の完成式典については前号に書きましたが、結局、その後さらに日程変更がなされ、決定したのはなんと式典の4日前！ 主賓も首相↓副首相↓州知事と変更になりました。しかし幸いだったのは、州知事の日程だけが、支援者70名がシエムリアップに滞在予定としていた3日間にちよほど重なったことです。

そして、さすがカンボジアですね。州レベルの式典ならば3日前に日程が決まれば開催できるという噂どおり、決定後の準備の早いこと、早いこと。直ちに州の儀典局員が訪れ、会場設営をはじめとするすべての準備を開始。はるばる遠方から駆けつけてくださる皆さんになんとか顔向けできる式典が開催できる見込みとなりました。

そして式典当日。48名の中学校生徒と教員、そして約60名の村人が、校庭に設けられたテント内に整然と着席する中、

定刻ぴったりに州知事が到着され、二転三転したそれまでの日々がまるで幻だったかのように、肅々と式は執り行われたのでした。

日程がなかなか決まらない中、直前になって航空チケットを取り直して帰国日を延長した支援者も何人かいましたが、皆さん、カンボジアのペースを理解されているようで、笑顔で滞在を楽しまれています。そしてバイヨン中学校のこれからについても気にかけてくださっています。特に半年後には、この中学校から初めての卒業生が出ます。ほぼ全員が進学を希望しますが、この地域に中学校がなかった3年前は、中学進学率でさえ小学校卒業生の15%にも満たなかったという状況を考えて、果たして彼らの夢はかなうのでしょうか？ 生徒たちは校長に何度も「バイヨン高校」をつくってほしいとお願いしているようですが、実現するのでしょうか？ 楽しみ半分、不安半分の半年後です。